

旧甲州街道を歩くパート⑧

日時：2021年4月24日（土） 天気：晴 やや健 歩数：2万7000歩 距離：17km

集合：JR上野原駅 9時

コース：上野原駅（9：08発バス乗車）→新町牛倉神社→上野原宿本陣跡→三叉路→鶴川橋→鶴川宿→大柵一里塚→大柵吾妻神社→野田尻宿→西光寺～荻野一里塚跡～矢坪坂古戦場跡～犬目宿→恋塚一里塚→大月市へ～下鳥沢宿～鳥沢駅

参加者：平山（L） 奥村（SL） 畠（SL） 勅使河原 平石 熊坂 高橋文 奈良 清水正 栗田 市村
山田 高山 高橋友 鈴木考 三田 鹿島 17人

平山リーダーの「標高差350m、歩く距離も多めになりますが息が切れるようなアップダウンはありません。甲州の山並みを眺めながらのんびり歩きましょう」の呼びかけに誘われて、上野原駅のホームに降り立ちました。フジやサツキなどの花を愛で、山笑う甲州の山並み、心浮き浮きする新緑満喫の甲州路でした。犬目宿直売所のお店の人や庭で鴨を飼っていた女性との会話など、コロナ禍に細心の注意をしながらも人とのふれあいを楽しむことができました。山道も少しあり、土の感触が何とも言えず足に優しく感じました。「標高差350m」とありましたが、奥村サブリーダーによると「累積標高差350m」とのこと、足に心地よい疲れを感じた「旧甲州街道を歩く」でした。

写真は、この日最初の集合写真「大柵（おおくぬぎ）一里塚跡」の石碑を囲んで。後ろの木が柵かどうか分かりませんが緑の色が目には優しいです。マスクで口元は隠れていますが目元はみなさん「笑顔」です。



JR上野原駅～9時8分発のバス乗車～新町バス停～新町牛倉神社

JR上野原駅に9時集合、電車は1時間に2本程。8時36分着の電車で改札を出るとすでに何人かが集合していました。待合所はホーム上、左が下り線改札、右が上り線改札です。駅北側は高台が迫っています、前回はここを下りてきました。橋上通路から長い階段を下りるとバスターミナル、9時8分発に乗車、登山客などでほぼ満員、10分ほどで新町バス停へ。裏の参道から新町牛倉神社へ入ります。表参道へまわり本殿の写真をパチリ。牛倉神社は上野原村の鎮守で、毎年9月4日から6日までの3日間、郡内三大祭りといわれる農耕の五神に感謝を捧げる「牛倉神社例大祭」が実施されています。



境内でストレッチ 9時35分～国道20号～上野原宿本陣跡～三叉路

杉の大木などがある広い境内で、熊坂さんのリードでストレッチ。平山リーダーがコース説明をしました。境内には「撫牛」があります、「痛むところのある人は、自分の患部を撫で、その手で神牛の同じところを撫でさすれば、たちまち病気が平癒する・・・」と説明されています。勅使河原さんは目ですか頭ですか、鹿島さんは足を撫でています。ご利益がありますように。参拝をして9時35分にスタート。平山リーダーを先頭に表参道から国道20号に出て西に進みます。栗田さん、手に持っているのはお饅頭ですか。上野原宿は甲斐の国最初の宿場、門構えだけが残っている本陣跡を見学。さらに西へ、三叉路が出てきました。



三叉路～国道 20 号から旧甲州街道へ～鶴川橋～10 時 20 分鶴川宿跡

三叉路、左は国道 20 号、右は山梨県道・東京都道 33 号の上野原あきる野線。江戸の昔からあった交通の要所、いにしえの人のどのような出会いがあり別れがあったのでしょうか。人生の岐路を思わせる三叉路、この日は平山リーダーにお任せでお気楽に左へ進みます。旧甲州街道の小道に入ります。民家の石垣のところの紅白のサツキが鮮やか。歩道橋で 20 号線を跨ぎ、少し下って鶴川沿いを上流へ向かいます。鶴川橋を渡って 10 時 20 分、この日二つ目の宿場跡になる「鶴川宿」石碑がある小広場に着きました。この日の甲府地方の気象情報の最高気温は 25℃の夏日、大分暑くなり水分補給と衣類調整、東屋の下で休む人も。



鶴川宿跡～鶴川野田尻線～庭先の鴨～中央道竜ヶ崎橋～大柵一里塚跡

鶴川宿は村のほとんどが宿屋を経営していたとされ、表札に屋号が残されている趣のある建物が並んでいます。高台には鶴川神社が鎮座。少し進むと上り道の鶴川野田尻線に出ました。立派な倉と竹林があるところで年配の男性が「この出身で今は高幡不動に住んでいて、時々こちらに来る」と話しかけてきました。庭先で人懐こい鴨を飼っている女性に出会いました。「卵から育てたので逃げない」と話していました。中央自動車道に並行する道に出ると自生したフジの花があちこちに。自動車道に架かる鳶ヶ崎橋を渡ります。下り線談合阪SAは2km先。11時丁度到大柵一里塚跡に到着、まだ行程の3分の1ほどか。



大柵一里塚跡～モッコウバラ 藤棚 牡丹の花～吾妻神社で昼食タイム

大柵一里塚は江戸から19番目の一里塚、集合写真を撮ってスタートです。石垣を覆うように黄色い花が、どなたかが「モッコウバラ」と教えてくれました。江戸時代に渡来した中国原産のバラです。倉がある大きな庭には藤棚が、そのお隣の家には見事な牡丹の花が、思わず石垣越しに覗いてしまいました。11時20分、大柵地区にある吾妻神社に到着です。境内に樹齢600年、幹回り6m、高さは20mの大杉がありました。密を避け、ソーシャルディスタンスでベンチに座りほっと一息、昼食タイムとしました。



吾妻神社～白とピンク色の芝桜～淡いピンク色のフジの花～野田尻宿

お腹も落ち着き12時少し前に午後のウォーキングスタート、花いっぱいの街道歩きです。民家の低い石垣の上に白とピンク色の芝桜が続きます。少し進むと淡いピンク色のきれいな花が、どなたかが「これもフジの花よ」と教えてくれました。フジの花は紫とばかり思っていました。中央自動車道の脇を歩きます、あと1kmで上り車線の談合坂SAです。武田信玄の家臣が北条氏の侵略から守るために築いた長峰の砦跡がありました。中央自動車道の道路工事のときに見つかり、写真などが展示されています。新栗原橋を渡ると旧宿場町の面影が残っている野田尻宿に入ります。ここでも平山リーダーの丁寧な説明がありました。



野田尻宿～西光寺～荻野一里塚跡～矢坪坂古戦場跡～山道～犬目宿

野田尻宿を12時35分に出ました。5分ほどで西光寺へ、みなさんが覗いているのは色鮮やかな錦鯉。ここからはひたすら歩きます。中央自動車道の上を再び通り、荻野一里塚跡を通過。白い頂の富士山が見えてきました。北条氏と郡内領主小山田氏が激突した矢坪坂古戦場跡、ここからアップダウンのある山道に入りました。土の柔らかい感触が何とも言えません。14時5分犬目宿到着、この間半分ほどは山道でした。



犬目宿直売所で野菜購入～犬目兵助の墓～恋塚一里塚～富士山を眺望

犬目宿直売所でお茶の接待がありました。野菜などがほぼ100円、「山椒味噌は白いご飯でも冷奴でも美味しいよ」とすすめ上手、地元の人とのマスク越しの会話はほのぼの。清水さん、高橋さん、すっかり主婦の顔になって買い込んでいますか。私も山椒味噌や梅干を購入。犬目宿石塔を挟んで集合写真、平山さんが「甲州一揆、指導者犬目兵助と墓」について説明されました。すっかり長居して14時30分スタート、下り道が続きます、甲州で唯一塚の形態が残っている恋塚一里塚を見学。民家がある道を通り、山道を下ります。富士山の眺望が良いところへ、いにしへの旅人はホッとした思いでこの富士を眺めたのでしょうか。



大月市へ～下鳥沢宿～16時15分JR鳥沢駅 2万7000歩 17km

富士山を眺望してひたすら下ります。大月市に入りました。中央自動車の高架下を通り、大月市内へ入ります。下鳥沢宿跡を通り16時15分、鳥沢駅に着きました。2万7000歩、17kmの「旧甲州街道を歩くパート8」でした。16時21分発の上り電車に全員乗り込みました。



昨年12月12日の「城山湖から草戸山へ」以来、実に4ヵ月ぶりのウォーキング参加。1月8日から3月21日まで緊急事態宣言が発令され、リーダーで計画した「小涌谷から湯坂路で石仏群へ（1月13日）」と「南山縦走冬のひだまりハイキング（2月13日）」を中止せざるをえませんでした。コロナ感染の怖さと体力の低下を感じている中でのウォーキング、心地良い汗をかき清々しい気持ちになった甲州路でした。

全国のコロナ新規感染者数は、全国的に宣言が解除された3月21日は1118人。その後再拡大し始めて4月21日には、第3波のときの1月22日以来の5000人超えで5292人。1回目の緊急事態宣言が発令された昨年4月7日の新規感染者数は368人。この1年余、国民の命と生活が脅かされ続けています。コロナ感染を早く収束させ、安心して楽しくウォーキングをしたいと思います。（いちむら記）